

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2015-126812(P2015-126812A)

【公開日】平成27年7月9日 (2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2013-273314(P2013-273314)

【国際特許分類】

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

A 6 3 B 69/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/36 5 4 1 W

A 6 3 B 69/00 5 0 4 K

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するため、本発明の一態様の情報処理装置は、
動作の評価対象となる人物の視線の情報を取得する第 1 の取得手段と、
前記第 1 の取得手段により取得された視線の情報に基づいて、前記人物の動作の評価を行う評価手段と、
を備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動作の評価対象となる人物の第一の視線情報及び視線情報の評価の基準となる第二の視線情報を取得する第 1 の取得手段と、

前記第 1 の取得手段により取得された前記第一の視線情報及び前記第二の視線情報に基づいて、前記人物の動作の評価を行う評価手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

複数の画像を取得する画像取得手段を更に備え、

前記第 1 の取得手段は、前記画像取得手段により取得された複数の画像の各画像から前記第一の視線情報及び前記第二の視線情報を取得し、

前記評価手段は、前記第 1 の取得手段により取得された前記第一の視線情報と前記第二の視線情報とを比較する比較手段を更に有し、

前記評価手段は、前記比較手段による比較結果に応じて前記動作の評価を行う、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記人物の顔の向きの情報又は頭の位置の情報を取得する第 2 の取得手段を更に備え、

前記評価手段は、前記第 1 の取得手段により取得された視線の情報と、前記第 2 の取得手段により取得された顔の向きの情報又は頭の位置の情報に基づいて、前記人物の動作の評価を行う、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記人物の一連の動作から複数の時点を特定する時点特定手段を更に備え、

前記評価手段は、前記時点特定手段により特定された複数の時点において、前記第 1 の取得手段により取得された前記第一の視線情報及び前記第二の視線情報に基づいて、前記人物の動作の評価を行う、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記評価手段による評価結果に基づいた評価画像を生成する評価画像生成手段と、

前記評価画像生成手段により生成される前記評価画像を表示手段に表示させる表示制御手段と、

を更に備える、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記文字情報は前記評価手段による前記人物の動作の評価に対応したアドバイス情報又は、前記第一の視線情報と前記第二の視線情報との差分値を含む、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記第 1 の取得手段は、撮像手段で撮像された人物の画像の視線の動きを解析して前記第一の視線情報又は第二の視線情報を取得する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記人物の動作は、ゴルフ、ビリヤード又は野球のスポーツにおけるプレーヤの動作である、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

動作の評価対象となる人物の第一の視線情報及び視線情報の評価の基準となる第二の視線情報を取得する第 1 の取得ステップと、

前記第 1 の取得ステップにより取得された前記第一の視線情報及び前記第二の視線情報に基づいて、前記人物の動作の評価を行う評価ステップと、

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 10】

コンピュータを、

動作の評価対象となる人物の第一の視線情報及び視線情報の評価の基準となる第二の視線情報を取得する第 1 の取得手段、

前記第 1 の取得手段により取得された前記第一の視線情報及び前記第二の視線情報に基づいて、前記人物の動作の評価を行う評価手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。